

Fatigue & Impact II

座長:大西弘志(土木),楠浩一(建築)

Fri. Jun 28, 2024 10:50 AM - 12:15 PM Room 7 (大展示場C)

[2140]Experimental Study on Re-repairment Method of RC Road Bridge Deck with Delamination after Thickening the Upper Surface

Akira TANAKA¹, Takuya MAESHIMA¹, Satoshi AOKI², Ichiro IWAKI¹ (1.日本大学 2.首都高技術センター)

Keywords:高浸透型防水材料、輪荷重走行試験、道路橋RC床版、上面増厚、補修効果、層間剥離

本研究は、上面増厚補強を施した後に再劣化した道路橋 RC床版に対する再補修工法の補修効果について実験的に検討したものである。輪荷重走行試験を用いて、SFRCにより上面増厚した RC床版へ終局限界状態程度まで疲労損傷を与え、高浸透型防水材料を用いた補修を行った後に再度輪荷重走行試験を実施した。その結果、提案工法により層間剥離部や母床版内部に発生したひび割れまで高浸透型防水材料が浸透し、これによって床版の剛性回復や延命効果に寄与することを明らかとした。